

1. 概略 (シナリオ)

想定 平成12年6月4日(日)午前10時00分頃、駿河湾を震源とした、大地震が発生、沼津市中心街も地震による家屋の倒壊や、火災が発生し、水利である消火栓等が破壊された。第2分団は、市民からの通報により大手町4丁目付近に火災発生の情報を受け副分団長の指揮の下、団員7名で直ちに出動。

- ・ 東海地震を想定し、6～8名位でポンプ車両に乗車し現場に到着
- ・ 火災現場近くの耐震貯水槽又は河川等を利用する。
- ・ 道路上の障害物をチルホル等を使い排除し、ポンプ車を進める。
- ・ がれき等をチェーンソー・ロープ等を使い排除し、水利にポンプ車を付ける。
- ・ ホースカを使い65ホースを2～3本出し分水器を使い二線出す

・ 説明役 廣瀬

要員	指	1	2	3	4	5	6機		
	米山	長沢	鷲巣	小川	杉山	神尾	鈴木	補助員 関野・小泉・青木・中村 星・永倉・深沢・近藤 小杉・高橋・清水・窪田	
	副分	班長	班長	団員	団員	団員	部長		

使用機材

- \* チルホル・ワイヤロープ・ナイロンスリリング・皮手袋
- \* チェーンソー・ナイロンスリリング・ロープ・担ぎ棒(パイプ)・皮手袋
- \* 65m/mホース3・50m/mホース2・50m/m無反動ノズル2・分水器・ケブラ手袋

障害物用車両・障害物用丸太・発煙筒

第二分団 災害操法

3番員 3番員に習え 直れ 整列休め

指揮者 きおつけ 2番員に習え 直れ 整列休め 向きを変え 申告に行く  
「第2分団 只今より災害操法を開始します。」ポンプ横に戻る。  
「集まれ」 「番号」 「大手町4丁目付近にて火災発生出動」 「乗車」

指揮者 道路障害物より 10m位手前で停車

6番員 サイドブレ キを引き 「よし」

指揮者 指揮者後方確認しながら降り、ドアを開けたまま（車内と後部に聞こえるように）  
「車両左側待機、1番員随行」 障害物を一回りしてくる。  
残った者は、整列休め 降りる時ドアを少し開け後方確認（全員）  
（前に立ち、指示）1番員は指揮者の左後方待機  
「障害車両を排除してから、瓦礫を道路わきによけ、道路の確保」  
「1・2番員は障害物排除の準備」  
「他の者は、可搬ウインチを使い障害車両2m移動」  
「かかれ！」

全員 「よし！」

1・2 （チェーンソウ・ロップ・パイプ・ナイロン帯）を運んで準備する。  
準備が出来たら折膝で待つ。

3番員 「ウインチ」5番員の置いたナイロン帯をポンプに掛け4番員と協力し準備

4番員 「ワイヤ」3番員と協力し準備できたら「準備よし」と声をかける。

5番員 （ナイロン帯）ポンプ前に1つ置き、カラビナが付いた方を障害車両に付ける  
付けたら、「よし」と手を上げ 障害車両横に着く。  
障害車両の横に立ち2m移動したら、手を挙げて「2m移動」と叫ぶ  
（この間「1m移動」「1m50移動」声を掛ける）

6番員 車両止めをかけ、ポンプ横に立つ。

指揮者 作業の見渡せる位置に付き、4番員の「準備よし」の声を聴いたら  
各員の安全を確認し「ウインチ引け」と声を掛ける

指揮者 5番員の「2m移動」の声を聴いたら「やめ、移動完了」の声を掛ける。  
人息おいて、いて  
「次の作業にかかれ」

4・6番員は機材の片づけ、他は障害物の撤去に掛かる。

全員で 「よし！」 4番員は、片づけが終了したら指揮者に「ウインチ撤収完了」申告

第二分団 災害操法

- 1番員 1番員は、ゴグルを付ける。  
チェーンソのエンジンを掛け切断準備 他は、丸太を抑える  
1回づつ指揮者は指で切断位置を差し「ここ」と指示  
2回切断したらチェーンソ エンジンを止める。  
1・2・3・5番員は、ナイロン帯を使い協力して、丸太排除  
(この間に4番員は片づけが終了したら指揮者に「ウインチ撤収完了」と申告)
- 指揮者 (障害物排除完了したら)「収め」と声をかけ、
- 指揮者 「放水準備に係れ」  
1・2・3番員は防火服着用 手袋は、ケプラ に。  
4・5番員は、機材を片づける。(6番員は車止めを外す)
- 指揮者 準備できた頃、見計らって「乗車」 6番員はゆっくり車を動かす
- 指揮者 「操作始め」
- 6番員 サイドプレキを引き「よし」
- 指揮者 降りるとき団無線機を所持し、 先に、分水器を置く地点まで走る  
1・2・3ホスカを引く 1番 50ミリホス2本積む  
2番 ホスカを支えている  
3番 ホスカの65ミリホスをポンプに接続  
ホスカの後に付く
- 4番員 防火服着用 ホスカの後を追う
- 5・6 吸管を出す 放水準備 5番 吸管に枕を付ける 吸管口 プを縛る  
6番 放水準備ができたなら  
団無線機を応答できるようにしておく
- 指揮者 ホス2本出した所で「止まれ」 放水点に走る。
- 3番員 ホスカの結合ホスはずす。2番の持ってきた分水器を  
立ったまま2人で 接続し 置いて レバを締め 「分水器よし」
- 指揮者 無線機で「分水器まで送水始め」
- 1番員 50ミリホスを分水器に結合、さらに  
ノズルに結合し手広めにより「第1線放水始め」
- 3番員 レバをゆっくり開く
- 指揮者 無線機で「第一線放水始め」を伝達
- 2番員 50ミリホスを分水器に結合、さらに  
ノズルに結合し手広めにより「第2線放水始め」

第二分団 災害操法

3番員 レバ をゆっくり開く

指揮者 無線機で「第二線放水始め」を伝達

3番員は2番員のノズルの補助に付く

4番員は1番員のノズルの補助に付く

5番員は、防火着を付け、鳶口を持って前線へ

指揮者 無線機で「放水やめ」

1・2番員は、それぞれ復唱し、ノズルを下げ水を抜く

指揮者 「収め」

指揮者は、ポンプへ行き 無線器を助手席へ

1・2番員は、ノズルを外し、50mmホースを延ばし巻き、ホースカー

3番員は、分水器からホースを3箇所外し、

65mmホースを巻いてポンプに乗せ防火服を脱ぎ白ヘルに

4番員は、65mmホースを巻いてポンプに乗せ他のホースを置く場所を空ける

防火服を脱ぎ白ヘルに

5番員は、鳶口を片づけ、吸管口を収納し、吸管を収納する

防火服を脱ぎ白ヘルに

6番員は、65mmホースを外し、枕を外し、吸管口を緩める。

吸管の水抜きをし5番員と吸管を収納する

1・2・3番員は、ホースカーをポンプに乗せる。

ポンプ後方4m位置に2番員を基準に整列

指揮者 「機材点検」 1・2番員は、防火服を脱ぎ白ヘルに

指揮者 「点検報告」 1 6まで

「別れ」

指揮者 「乗車」 ゆっくり発車

最初の位置へ 停止

指揮者だけ降りて 申告

「災害操法を終了しました。」